

科目名	日本文学概論Ⅱ					単位	2.0
担当教員	沼波 政保						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5104

●授業のテーマ

中世文学を知る

●到達目標

中世の著名な文学作品の考察を通して、各作品の精神的営為を探り、中世文学についての知識を得る。さらに、文学研究に必須の基礎知識についての知識も身につける。

●学習内容(授業概要)

言うまでもなく、文学は人間の精神的営為の表出である。したがって、文学を享受するという事は、そこに表われている人間心理を享受することである。当然、そこには時代背景が多分に影響している。

したがって、日本文学を研究することは、とりもなおさず、日本人の精神史を学ぶことになる。

「日本文学概論Ⅰ」（前期）において身につけた研究の視点に基づき、日本文学の中、特に中世文学を中心に、その精神を探っていきたい。

また、随時、文学研究に必須の基礎知識についても触れていく。

●学習内容(授業計画)

- 1 講 序説
- 2 講 時代背景
- 3 講 和歌…『新古今集』・『金槐和歌集』 付 連歌
- 4 講 軍記物語…『保元物語』・『平治物語』・『平家物語』
- 5 講 隠者文学①…西行『山家集』・長明『方丈記』
- 6 講 隠者文学②…兼好『徒然草』
- 7 講 女流日記文学…『建礼門院右京大夫集』・『とはずがたり』 他
- 8 講 謡曲…『忠度』・『俊寛』 他
- 9 講 御伽草子…『浦島太郎』・『横笛』 他
- 10 講 世俗説話集…『宇治拾遺物語』 他
- 11 講 仏教説話集…『発心集』・『撰集抄』 他
- 12 講 評論・歌論…『無名草子』・『近代秀歌』 他
- 13 講 五山文学・法語
- 14 講 中世文学を底流するもの
- 15 講 結講

●準備学習・事後学習の内容

前回の授業内容を理解した上で授業に臨む。

毎回の授業後には、授業の内容をノートに整理し、テーマについて理解しておく。

●成績評価方法・基準

授業中に随時行なう臨時テスト（2～3回）の成績（70％）に受講態度（30％）を加味して評価する。

●テキスト（必携）

適宜、プリントを配布する。

●参考文献／その他

適宜、紹介するが、その他に、日本文学作品はできるだけ読むことをこころがけてほしい。

●履修上の注意

「日本文学概論Ⅰ」（前期）を受講していることが望ましい。

主体的態度で受講することを望む。遅刻・欠席を慎み、必ずノートを取ること。ノートを取らないとテストに対応できない。